

「東京水道経営プラン2010」の策定にあたって

この度、新しい経営計画として、平成22年度から平成24年度までを計画期間とする「東京水道経営プラン2010」を策定しました。

この計画は、目標管理と成果重視の視点に立ち、都民への説明責任を果たしていくため、専門家会議における幅広い観点からのご意見などを踏まえ、3年間に組み組んでいく施策の事業計画と財政計画を明らかにしたものです。

東京の水道は、明治31年に近代水道として通水を開始して以来、最も重要な都市基盤施設の一つとして、都民生活と首都東京の都市活動を支えてきました。

しかしながら、安全でおいしい水へのお客さまニーズが高まっていること、保有する水源に渇水に対する安全度が低いなどの課題を抱えていること、首都直下型地震の切迫性が指摘されるなど震災対策の重要性が増していること、地球規模の環境問題を背景に環境負荷の低減に向けて抜本的な対策が求められていること等、様々な課題があります。

こうした中で、首都東京を支えるライフラインとして、その使命を全うしていくには、より信頼性の高い水道システムを構築していくとともに、質の高いサービスを展開していく必要があります。

東京都水道局は、これまで培ってきた歴史と伝統を引き継ぎ、一層確かな安心・安定を実感できる水道サービスの提供に、全力で取り組んでいきます。